

## 新年度のご挨拶

日本歴史言語学会 会員の皆様

新年度を迎え、会員の皆様にはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

このたび、日本歴史言語学会会長を務めさせていただくことになりましたことをご報告申し上げますとともに、一言ご挨拶させていただきます。

本学会は皆様のご協力のもと、2011年に第1回設立総会を大阪大学、2012年第2回大会を千葉大学、2013年第3回大会を東北大学にて開催し、着実に地歩を固めてまいりました。前執行部の方々には3年度にわたり会則の整備、会誌の刊行、大会の開催運営等、学会の船出に伴う諸々の課題を粘り強く解決されてこられたご苦勞に敬意を表しますとともに、あらためて心より感謝申し上げます。

さて、今年度第4回大会は11月29日（土）と30日（日）の両日、国立民族博物館（大阪府吹田市）において開催されます。また、日本の歴史言語学をさらに盛り上げようと『歴史言語学モノグラフシリーズ』の創刊に向け準備が進められつつあります。会誌『歴史言語学』と両輪をなして日本における自由闊達で内容豊かな言語史研究がさらに力強く発展するものと期待されるところです。

会員の皆様には大会での研究発表、『歴史言語学』への寄稿、さらには『歴史言語学モノグラフシリーズ』への提案等、積極的にご参加ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。この4月に発足しました新執行部は日本歴史言語学会の発展に専心努力いたす所存でありますので、なお一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2014年4月吉日

会長 千種眞一

## 編集委員会より

### ●『歴史言語学』第3号 原稿募集

平素は日本歴史言語学会の学会誌『歴史言語学』をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。この4月に発足する新編集委員会におきましては漸次誌面の充実を図ってまいりますので、会員の皆様には今後ともよろしくお力添えいただきますようお願い申し上げます。また、同誌は各種書店にて注文・入手いただけますが、会員であることを添えて版元の大学教育出版（[eigyo@kyoiku.co.jp](mailto:eigyo@kyoiku.co.jp), TEL 086-244-1268, FAX 086-246-0294）に直接注文いただきますと、会員特典として10%を差し引いた上に、送料無料でお求めいただけます。この特典を是非有効にご利用ください。

さて、すでにホームページでお知らせしていますように、『歴史言語学』第3号（2014年11月刊行予定）に掲載される原稿を募集しています。つきましては、下記の要領でふるって投稿いただきますようお願いいたします。

#### 参考 URL

『歴史言語学』原稿募集 <http://www.jp-histling.com/Pages/HLJ1.aspx>

学会誌規定 <http://www.jp-histling.com/Pages/StyleSheet.aspx>

#### 原稿作成要領

学会誌規定（上記 URL 掲載）に正確に従ってください。

適宜、指定書式のテンプレート（上記 URL 掲載）を利用ください。

#### 原稿種別

研究論文（指定書式 40 ページ以内）

Forum（同 15 ページ以内）

書評・資料紹介（同 10 ページ以内）

#### 提出・問い合わせ先

編集委員会 [HLJ@jp-histling.com](mailto:HLJ@jp-histling.com)

#### 投稿〆切 6 月末日

採否は 8 月末日までに決定してお知らせします。実のところ、審査のためのスケジュールはかなりタイトですので、〆切にこだわらずにお早目の投稿をお心がけください。

### ●『歴史言語学 モノグラフシリーズ』企画募集

年頭に事務局よりお知らせしましたように、わが国の歴史言語学を振興すべく、概説書ないし専門書を継続的に刊行する計画が進んでおり、事情が整えば今年度中にも発刊されることになると思われます。下記 URL 掲載の主旨をご理解いただきまして、ふるってご提案をお寄せください。

参考 URL <http://www.jp-histling.com/Pages/monograph.aspx>

#### 問い合わせ先

編集委員会 [HLJ@jp-histling.com](mailto:HLJ@jp-histling.com)

編集委員長 神山孝夫

大会委員会より

日本歴史言語学会の会員のみなさん

日本歴史言語学会の第4回大会は、2014年11月29日・30日に国立民族学博物館を会場として開催される予定です。

つきましては、この大会で研究発表して下さる方を募集いたします。大会規定に従い、8月31日までに、発表申込書と発表要旨を専用メールアドレスまでお送り下さい。詳しくは学会のホームページの大会案内をご覧ください。

なお、招待講演者にはベルリン・フンボルト大学のドイツ語史講座教授 Karin Donhauser 教授と、九州大学人文科学研究院文学部門国語学・国文学講座の高山倫明教授にお願いしております。どちらも各々の分野の泰斗としてご活躍の研究者で、興味深い講演を拝聴できるものと思います。是非ともご参加下さい。

参考 URL <http://www.jp-histling.com/Pages/conferences.aspx>

大会委員長 吉田 豊

会計委員会より

会費納入のお願い

新しく会計を担当することになった北海道大学の清水 誠と申します。

いつもながらで恐縮ですが、会費の適切なご納入にどうぞご協力ください。

参考 URL <http://www.jp-histling.com/Pages/fee.aspx>

会計委員長 清水 誠

その他、お問い合わせは [info@jp-histling.com](mailto:info@jp-histling.com) までお寄せください。

事務局長 菊澤律子